

中小企業の競争力を高める生産性向上 現場改善の視点から考える

オフィスタカノ

代表 高野 裕典 氏



1969年三菱重工に入社。
1973年にはオムロンIEセン
ターへ入社し、IE人材の育成、
国内外の工場改善等に従事。
退職後、2010年「オフィスタカノ」を設立。主に
関西地区の中堅中小企業の経営指導や、5Sを含
めた現場改善指導を推進している。

Contents

- ・ 寄稿
東大阪の中堅・中小企業における生産性向上
～ITの活用で脱属人化の加速が喫緊の課題～ … 6頁
- ・ 事例① (株)三晃鍍金工業所 …… 9頁
- ・ 事例② 日成興産(株) …… 10頁
- ・ 事例③ ヨコタ工業(株) …… 11頁

寄 稿

東大阪の中堅・中小企業における生産性向上

「ITの活用で脱属人化の加速が喫緊の課題」

オフィスタカノ 代表 高野 裕典 氏

はじめに

現在、生産性の世界における日本
の順位は20位代後半で、1980年
代は世界トップクラスを誇りました
が、その競争力は年々低下していま
す(7頁図1参照)。

最大の要因は、生産が海外へ移転
し、国内では大量生産から中品種中
量生産、多品種少量生産、加えて短
納期にシフトしたことにあります。
更にここ数年、物価上昇に伴って、
高い賃上げの要求が定着しつつあり、
賃上げの原資確保に向けた生産性向
上が喫緊の課題となっています。

東大阪の中堅・中小企業の 課題と対応策

東大阪市の委託事業において、東
大阪商工会議所と連携し、4年間で
42社を訪問しました。そこから垣間
見える生産性に絡む課題と対策を、
大きく5つにカテゴリーしました。

1) 生産管理

工程の負荷管理、進捗管理、工数
の予実管理、出荷管理など生産の基
礎となる生産管理の充実が必要とな
ります。

2) 情報化

生産管理項目の多くの多くは反
復作業であり、改善手段として情報
化が有効です。例として、反復作業
かつ属人的な作業である見積り業
務はシステム化することで「見える
化・脱属人化」が可能になります。
さらにデータベース化やネット
ワーク化で効率的な作業が実現で
きます。

3) 生産革新

この続きは会員事業所
のみご覧いただけます